

手厚い介護よりも目先の収益に 介護業界に劣化のひずみ



手厚い介護よりも目先の収益に…

2014年11月から12月、川崎市幸区の有料老人ホーム「Sアミーユ川崎幸町」で高齢者3人が相次いで転落死した事件。このうち丑沢（うしざわ）民雄さん（当時87歳）を殺害した容疑で2月15日に神奈川県警に逮捕されたのは、元職員の今井隼人容疑者（23歳）だった。残り2人についても殺害を認める供述をしている。そこには介護業界にはびこる闇が浮かび上がってきた。

日本の高度経済成長に人口ボーナスをもたらした「団塊の世代」。彼らが高齢者の仲間入りをして、65歳以上の高齢者人口は3384万人（2015年）に。介護サービスを必要とする人、老人ホームの入所希望者は年々増加し

ている。

施設や訪問介護も含め介護職に就いている人は、常勤、非常勤をあわせて168万人。介護福祉士、介護職員、ホームヘルパーの平均年収は、279万円（2015年10月発表の介護求人ナビのデータによる）と、給与水準は他産業に比べて月平均10万円ほど低い。介護職員の離職率は17.7%と入れ替わりも激しく、深刻な人手不足にあえぐ。

かつて3カ所のデイサービス事業所を経営し、『崩壊する介護現場』（ベスト新書）の著作があるノンフィクション作家、中村淳彦さんは、人手不足の実態をこう明かす。「とにかく介護の世界は慢性的な人手不足。募集をかけて、受けにきた人全員を採用してもまだ足りないくらいだった。読み書きが十分でない人でも採らざるを得ないほどです」

今井容疑者が勤めていた運営会社「積和サポートシステム」の中坪良太郎取締役によれば、1カ月目は先輩社員について昼の勤務、2カ月目は夜勤をこなし、3カ月目に独り立ちする研修システムだという。

介護福祉士としてグループホームに勤務する五十畑かおりさん（仮名、49歳）は言う。

「『同じ事業所で3年続けばよし』とされている業界ですから、3カ月でモノにならないとやっていけない。パートの場合、1カ月で“使えない”と判断されたら、切られるか、いじめられるか。“使える”と評価されたら、正社員になれと口説かれます」

介護業界で7年のキャリアを持つ五十畑さんは、問題点をこう指摘するのだ。

「今井容疑者は夜勤で、ワンフロアすべてを任されていたと思います。他のヘルパーは今井容疑者の動きがまったく見えない密室ということ。お金を盗むなどの犯罪もできてしまう」

今井容疑者は転落死させた丑沢さんについて、「手がかかる人だった」と供述したとされる。介護の現場では、ヘルパーなどが利用者から暴言や暴行を受けたり、便を投げられたりすることも珍しくない。介護福祉士を育成する十文字学園女子大学人間生活学部の宮内寿彦教授（社会福祉学）は、説明する。

「問題が起きたときに困難事例として聞き取り調査をするべきなんです。利用者がなぜそんな行為に及んだのか、原因は何か、どう対処すべきかなどを共有しないと、質の高い介護に結びつかない。運営側はヘルパー確保に追われて、人材の育成・教育まで手が回らないのかもしれない」

今井容疑者が勤めていた積和サポートシステムは、北海道、東京、神奈川で、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）など 25 施設を展開し、入所者は約 1100 人に及ぶ。高齢化を背景に、老人ホームは異業種からの参入も多く、2014 年までの 10 年間で約 10 倍に。同社も介護業者と住宅メーカーが出資した参入組だ。

S アミーユ川崎幸町では、男性職員 4 人による入所者虐待事件も明るみに出た。前出の中坪取締役が一連の問題をただと、

「今井容疑者はクレームもなく、良くも悪くも感想がないんです。今となっては問題があったことは否定できませんが、人間としての今井を見極められなかった。人となりを把握できるシステムが必要だったと今さらながら思います」

介護現場には、その成果と報酬が結びつかないジレンマもあるようだ。関東地方でデイサービスを営む会社社長は、介護事業の難しさについてこう嘆く。

「介護が必要とされる方は、重度から軽度まで 5 段階に分かれている。最も重度の要介護 5 の利用者さんをケアした場合、月に 40 万円くらいの売り上げ、要介護 1 だと月 10 万円くらいとってください。要介護 4 の利用者を必死にサポートして、立てるようになった、歩けるようになったと、仮に要介護 3 になったら、月に 10 万円くらい売り上げが減る。だから手厚い介護よりも目先の収益に走るケースが多い」

軽井沢のバス転落事故と同様に、劣化のひずみは立場の弱い人たちにつけとして回される。3 人が転落死してようやく明るみに出る現実。社会がその痛み気づくことができなかつた。無念でならない。

////////////////////////////////////
〒460 - 0006
愛知県名古屋市中区葵 1 丁目 27 番 3 号
 染木第 2 ビル 4 階 403 号室
 社団法人日本福祉車両未来研究会
 電話 052 - 937 - 2941
 FAX 052 - 937 - 2940
 Mail info@294mirai.com
 <事務局 吉川 剛>
////////////////////////////////////

会員企業名
〒239-0842 横須賀市長沢6丁目30番4号 有限会社ヤマヨ久保田商会 電話 046(849)3210 FAX 046(849)7147